

海運（船舶）利用の概況

定期航路利用の概要

(国内)

(単位:千人、千台)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 離島航路 | 旅客数 | 4,108 | 4,089 | 3,948 | 3,904 | 3,880 |
| | 車両数 | 401 | 390 | 377 | 354 | 379 |
| 本土間航路 | 旅客数 | 2,111 | 2,082 | 2,050 | 2,083 | 2,260 |
| | 車両数 | 576 | 613 | 614 | 582 | 641 |
| 計 | 旅客数 | 6,219 | 6,171 | 5,998 | 5,988 | 6,140 |
| | 車両数 | 977 | 1,003 | 991 | 937 | 1,020 |

注) 平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

(国際)

(単位:人)

| 区 分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 対馬～釜山航路利用者数 | 98,970 | 118,420 | 138,874 | 326,723 | 375,766 |

本県における国内定期航路数は平成26年10月現在42航路あり、このうち離島定期航路数は35航路である。

定期航路の平成25年度利用状況は、旅客数が6,140千人で対前年度比2.5%増加しており、このうち離島航路は3,880千人で対前年度比0.6%減少した。車両航送台数は1,020千台で対前年度比8.9%増加しており、このうち離島航路は379千台で対前年度比7.1%の増加となった。

本県では、離島地域住民の経済的負担の軽減と交流人口の拡大を目的として「離島地域交流促進基盤強化事業」により、新船建造（船舶リプレイス）の支援を行っている。平成24年度から着手していた福江～青方～博多間における新船「太古」は平成26年7月に就航した。

過年度の実施状況

| | | |
|------------|-----------|------------|
| 長崎～五島航路 | 「万葉」 | (23年 4月就航) |
| 長崎～五島航路 | 「椿」 | (24年12月就航) |
| 博多～壱岐～対馬航路 | 「フェリーきずな」 | (24年 4月就航) |
| 長崎～五島貨物航路 | 「フェリーさくら」 | (26年 3月就航) |

大規模改修リプレイス事業で実施

| | | |
|----------|------------|------------|
| 長崎～鯛ノ浦航路 | 「びっぐあーす2号」 | (26年 3月就航) |
|----------|------------|------------|

また、国際定期航路が、長崎県対馬市の厳原～釜山間、比田勝～釜山間において運航されている。厳原～釜山間においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」と未来高速の「コビー」が運航されており、比田勝～釜山間においては大亜高速海運「オーシャンフラワー」とJR九州の「ビートル」並びに未来高速の「コビー」が運航されている。平成25年度の利用者数は375,766人で対前年度比15.0%と大幅に増加しており対馬の地域振興と、韓国との交流人口の拡大に寄与している。

(県新幹線・総合交通対策課)